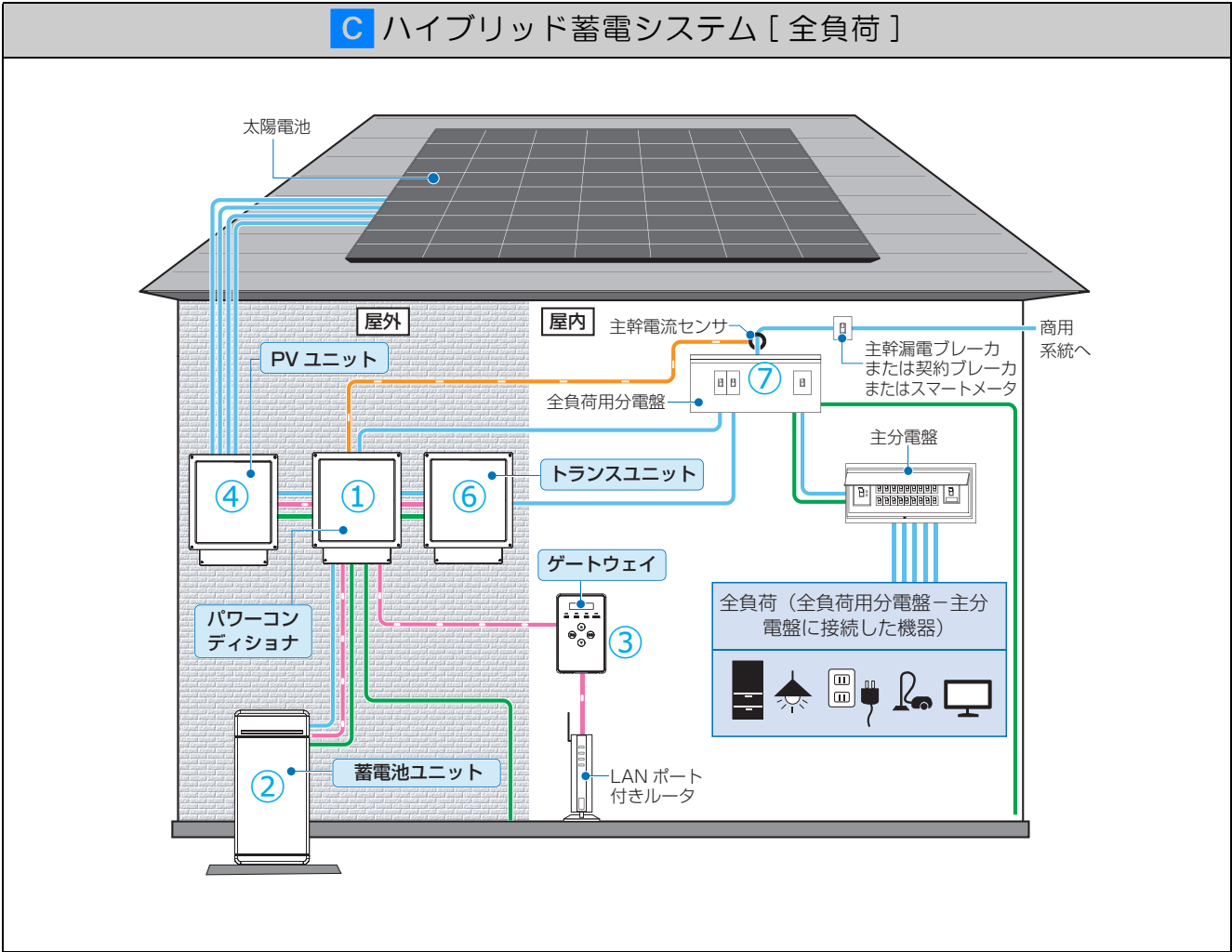
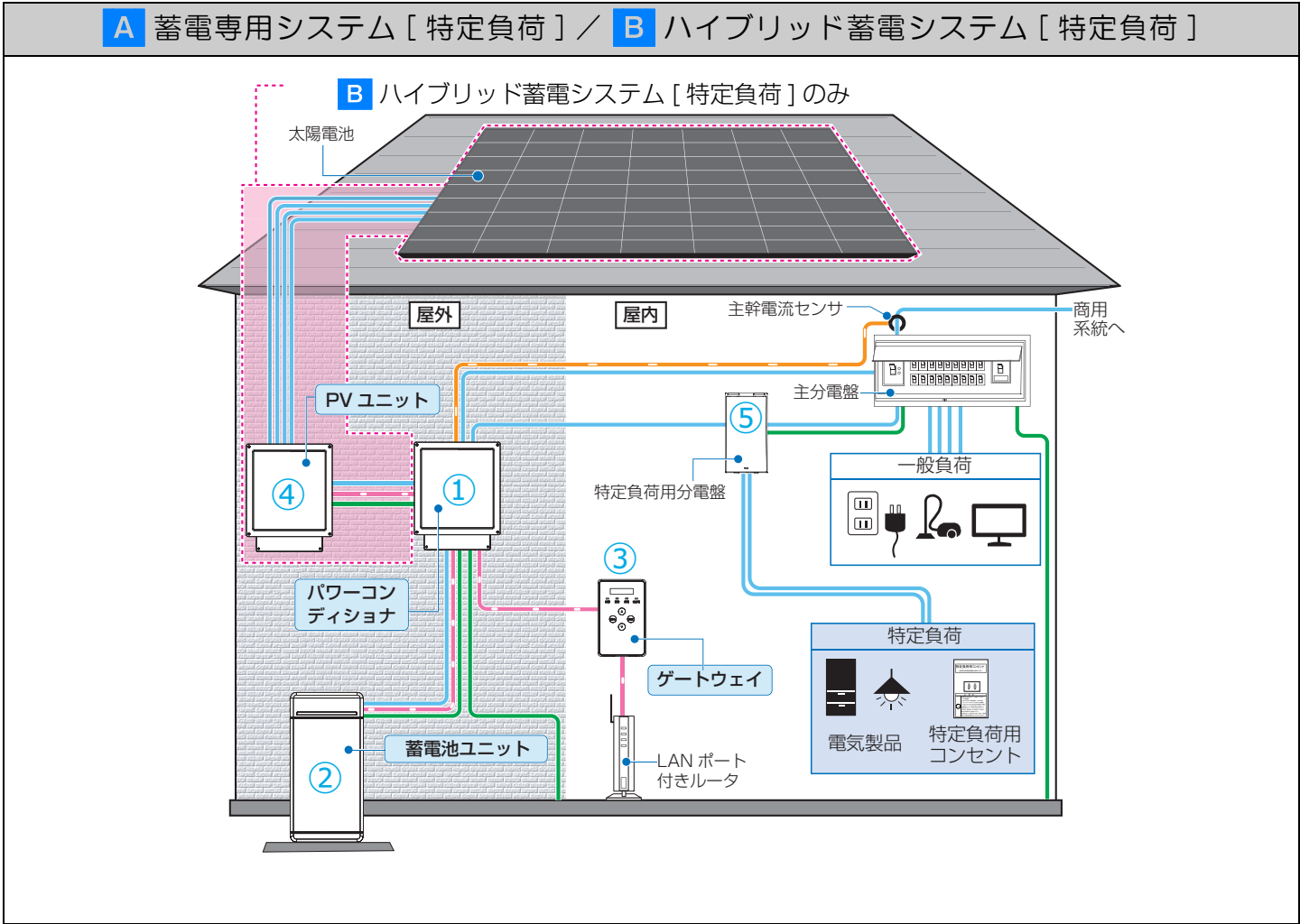




電力線
通信線
アース線
電流センサ線

	機器	形式	システムの構成機器 (○：システムに必要な機器)			機器の役割	設置場所 ※5、※6	配線方法※1
			A 蓄電専用 [特定負荷]	B ハイブリッド 蓄電 [特定負荷]	C ハイブリッド 蓄電 [全負荷]			
①	パワーコンディショナ	ITC-SSMP	○	○	○	システム全体の運転を管理します。	屋外 / 屋内	●電線管 (PF 管) 配線 + 隠ぺい配線※2 ●電線管 (PF 管) 配線 + ダクト配線
②	蓄電池ユニット	ITC-SSBU98 ITC-SSBU65	○	○	○	設定した時間帯や停電時に放電し、ご家庭の電気製品に電力を供給します。	屋外 / 屋内	●電線管 (PF 管) 配線 ●隠ぺい配線 ●ダクト配線
③	ゲートウェイ	ITC-SSGW	○	○	○	システムの運転状況を表示します。また、システムの運転・停止や設定変更を行います。	屋内	●隠ぺい配線 ●無線※7 ●露出配線
④	PV ユニット	ITC-SSPU	不要	○	○	太陽電池の発電電力をまとめて、パワーコンディショナに送ります。	屋外 / 屋内	電線管 (PF 管) 配線※4
⑤	特定負荷用分電盤	KP-DB20B-2	○	○	不要	特定負荷用分電盤には通常時および停電時に電力が供給されます。	屋内	隠ぺい配線 (特定負荷用分電盤のマニュアルを参照)
⑥	トランスユニット	ITC-SSTU	不要	不要	○	停電時に、蓄電池ユニットや太陽電池からの電力を全負荷用分電盤に送ります。	屋外 / 屋内	●電線管 (PF 管) 配線 + 隠ぺい配線※2、3 ●電線管 (PF 管) 配線 + ダクト配線※3
⑦	全負荷用分電盤	KP-DB75 KP-DB75B	不要	不要	○	全負荷用分電盤には通常時および停電時に電力が供給されます。	屋内	隠ぺい配線 (全負荷用分電盤のマニュアルを参照)

※1: 施工マニュアル、簡易施工マニュアルで説明している配線方法です。

※2: 隠ぺい配線のみの施工も可能です。

※3: 電線管 (PF 管) 配線のみの施工も可能です。(この場合でもケーブルダクトは使用します)

※4: ケーブルダクトに配線を通して、隠ぺい配線することも可能です。

※5: 取り付け、取り外し作業を考慮し、足場など十分安全を確保し、作業できる高さに設置してください。

※6: 直射日光が当たる場所に設置をしないでください。日中、建屋・建造物により日陰になる場所に設置をしてください。(直射日光があたると、蓄電池内部が高温状態になり、異常発生することがあります。)

※7: ゲートウェイとルータは無線で接続することもできますが、本書では有線接続で説明しています。

●蓄電池ユニットのイラストはイメージで、実際の形状と異なる場合があります。

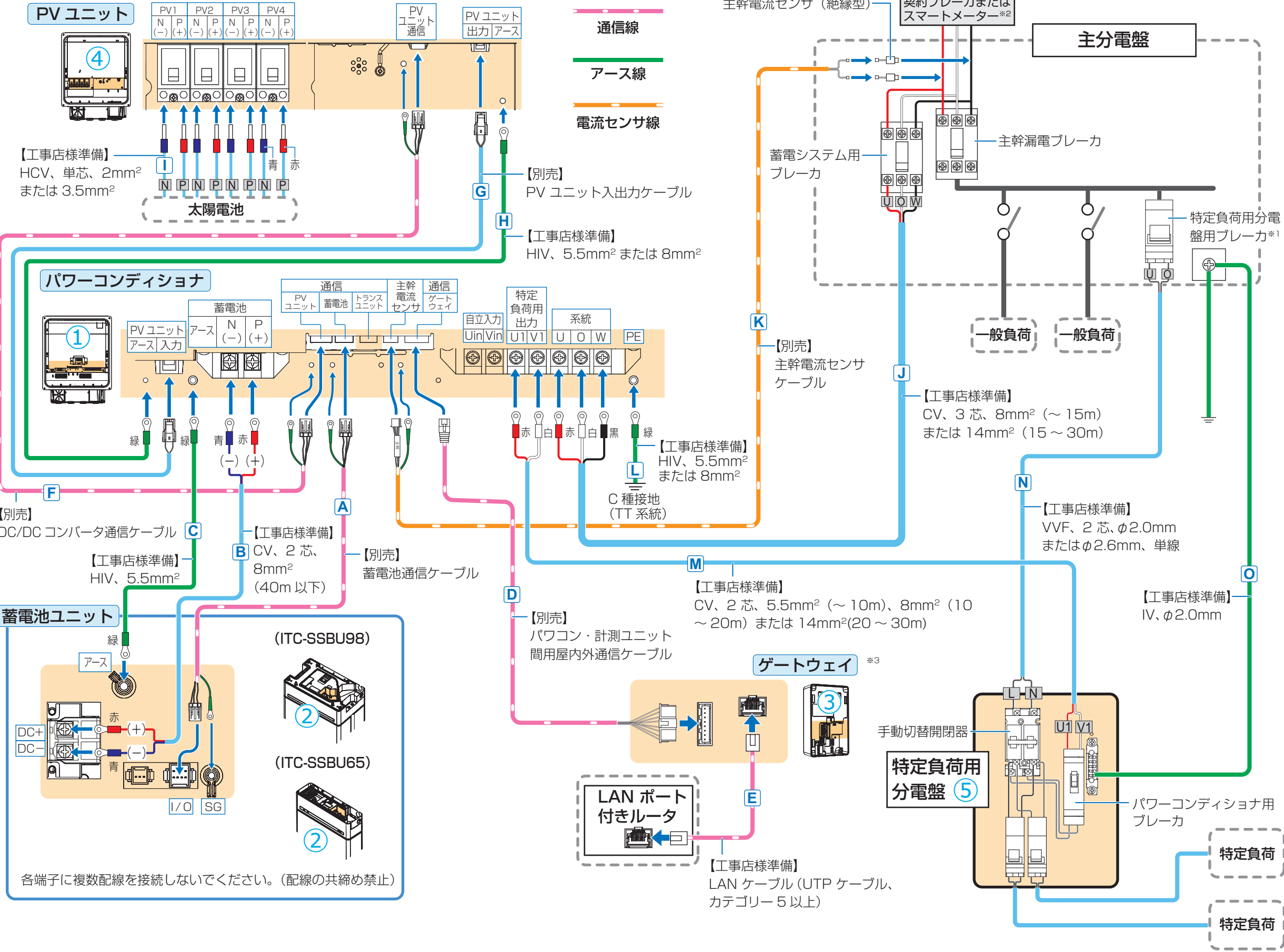
施工の前に

実体配線図②

B ハイブリッド蓄電システム [特定負荷]

以下の青アイコンが本システムの配線です。

A B C D E F G H I J K L M N O



K 主幹電流センサの取り付け方法

U V W 相 相 相
商用系統からの電源線
主幹電流センサ
主幹漏電ブレーカ
Kを商用系統側、Lを負荷側に向けて設置してください。

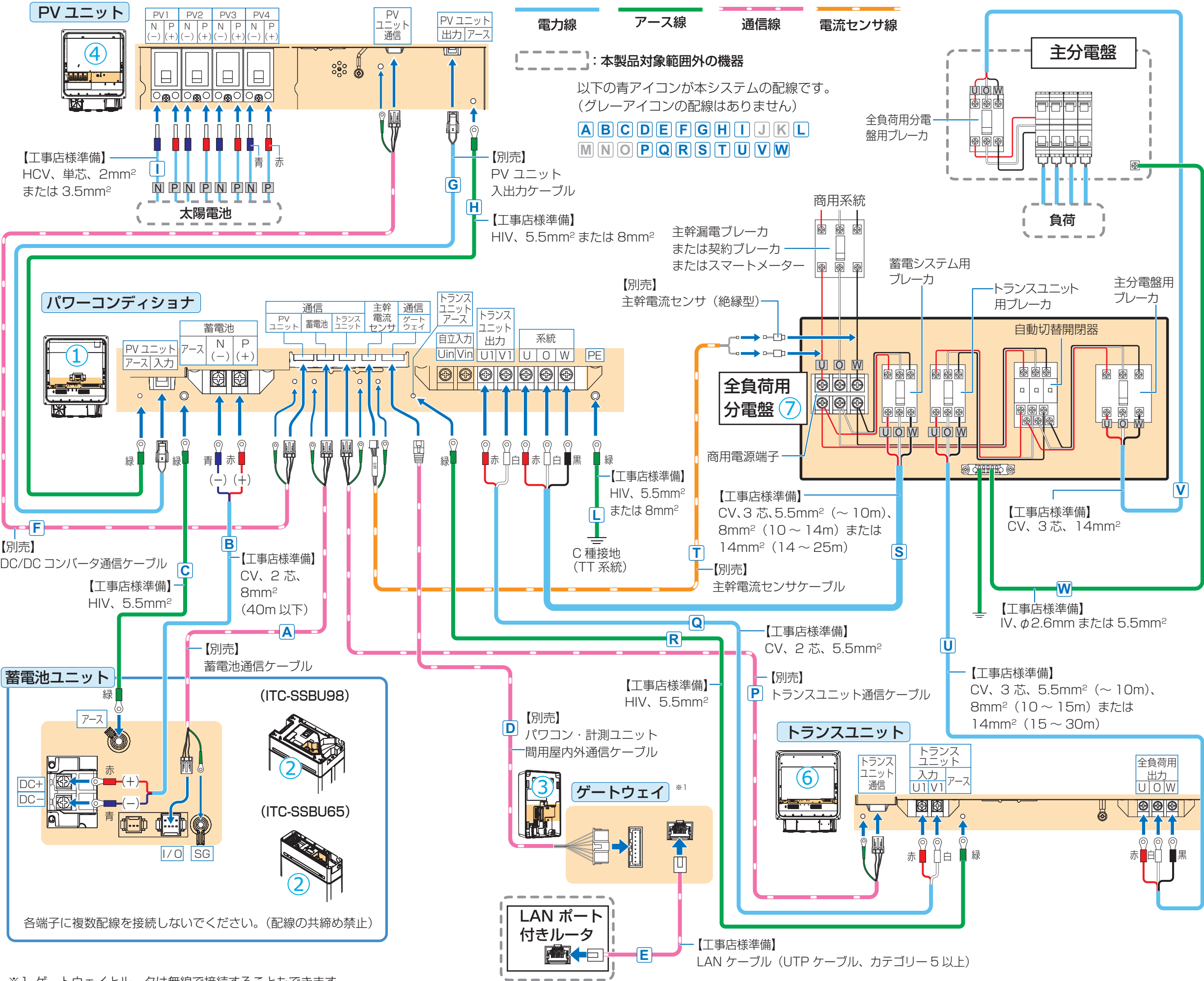
別売品	
A	蓄電池通信ケーブル ● KP-CHG-E8VB03S (3m) ● KP-CHG-E8VB07S (7m) ● KP-CHG-E8VB20S (20m) ● KP-CHG-E8VB30S (30m) ● KP-CHG-E8VB40S (40m)
	パワコン・計測ユニット間屋内外通信ケーブル ● KP-CH-B8VG03S (3m) ● KP-CH-B8VG05S (5m) ● KP-CH-B8VG15S (15m) ● KP-CH-B8VG30S (30m)
	DC/DCコンバータ通信ケーブル ● KP-CHE-E8VDB029S (2.9m) ● KP-CHE-E8VDB05S (5m)
	PVユニット入出力ケーブル ● KP-CHJ-F2VDB029ND3 (2.9m) ● KP-CHJ-F2VDB05ND3 (5m)
	主幹電流センサ(絶縁型) (1セット:2個入り) ● KP-CT-S16AC100A (φ14.5) ● KP-CT-S24AC100A (φ24) ● KP-CT-S35AC100A (φ35.5)
K	主幹電流センサケーブル(絶縁型) ● KP-CHI-C4VB15S2 (15m) ● KP-CHI-C4VB30S2 (30m)
	特定負荷用分電盤 ● KP-DB20B-2

※1. 主分電盤の特定負荷用分電盤用ブレーカは、U-O 相に接続された分岐ブレーカを使用してください。
※2. スマートメーターを使用する場合でも、スマートメーターの2次側(負荷側)と主幹漏電ブレーカの1次側(系統側)の間に蓄電システム用ブレーカの1次側を接続できます。
※3. ゲートウェイとルータは無線で接続することもできます。

施工の前に

実体配線図③

C ハイブリッド蓄電システム [全負荷] (全負荷用分電盤 KP-DB75 をご使用の場合)



T 主幹電流センサの取り付け方法

U O W
相 相 相
商用系統からの電源線
主幹電流センサ
商用電源端子
K を商用系統側、
L を負荷側に向けて
設置してください。

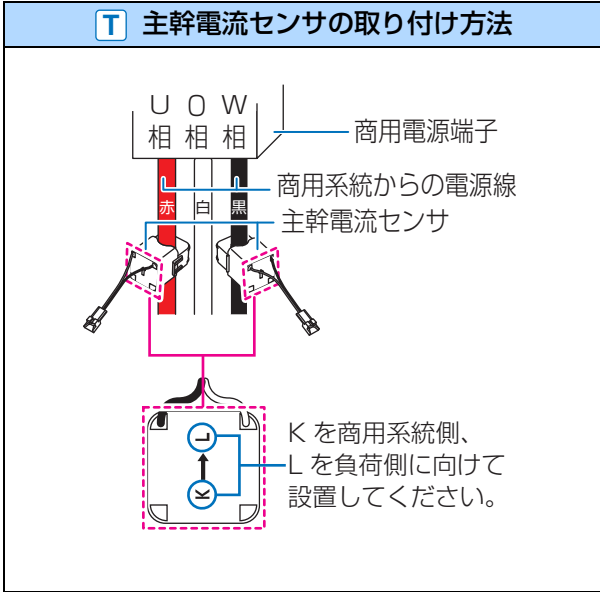
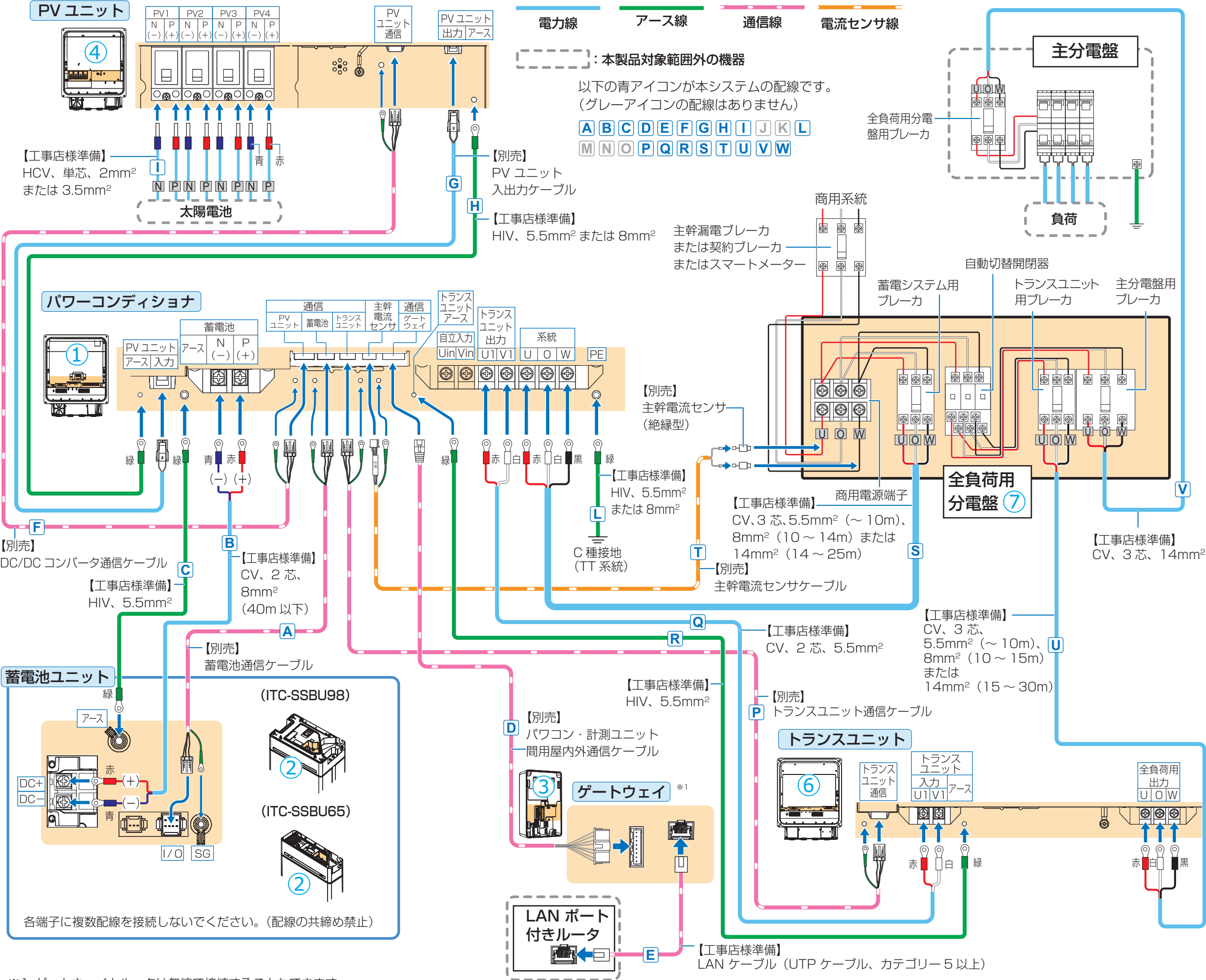
別売品	
A	蓄電池通信ケーブル ● KP-CHG-E8VB03S (3m) ● KP-CHG-E8VB07S (7m) ● KP-CHG-E8VB20S (20m) ● KP-CHG-E8VB30S (30m) ● KP-CHG-E8VB40S (40m)
	パワコン・計測ユニット間屋内外通信ケーブル ● KP-CH-B8VG03S (3m) ● KP-CH-B8VG05S (5m) ● KP-CH-B8VG15S (15m) ● KP-CH-B8VG30S (30m)
	DC/DC コンバータ通信ケーブル ● KP-CHE-E8VDB029S (2.9m) ● KP-CHE-E8VDB05S (5m)
	PV ユニット入出力ケーブル ● KP-CHJ-F2VDB029ND3 (2.9m) ● KP-CHJ-F2VDB05ND3 (5m)
	トランスユニット通信ケーブル ● KP-CHT-E4VDB029S (2.9m) ● KP-CHT-E4VDB05S (5m)
T	主幹電流センサ (絶縁型) (1 セット: 2 個入り) ● KP-CT-S16AC100A (φ14.5) ● KP-CT-S24AC100A (φ24) ● KP-CT-S35AC100A (φ35.5)
	主幹電流センサケーブル (絶縁型) ● KP-CHI-C4VB15S2 (15m) ● KP-CHI-C4VB30S2 (30m)
7	全負荷用分電盤 ● KP-DB75

※1. ゲートウェイとルータは無線で接続することもできます。

施工の前に

実体配線図③

C ハイブリッド蓄電システム [全負荷] (全負荷用分電盤 KP-DB75B をご使用の場合)



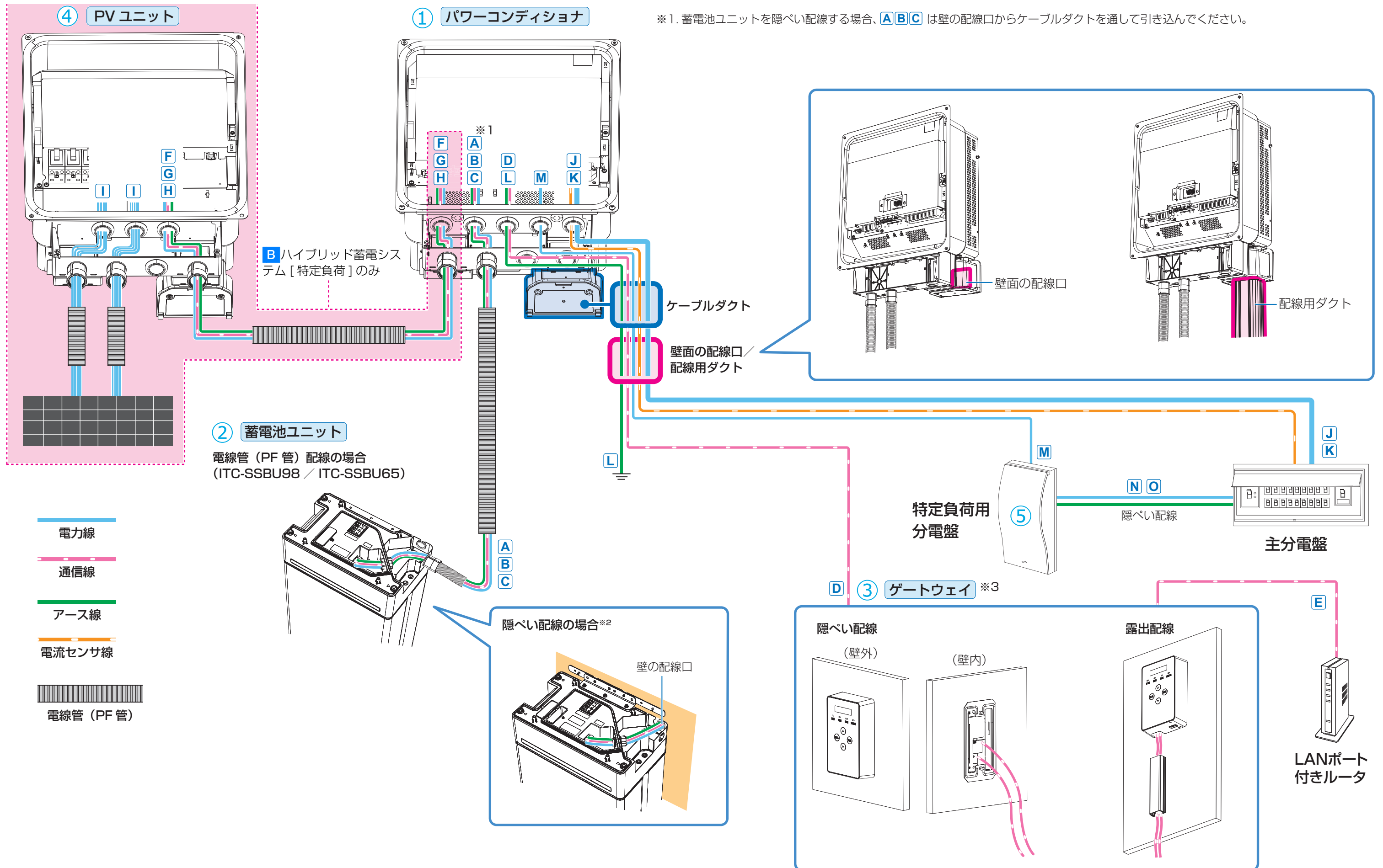
別売品	
A	蓄電池通信ケーブル ● KP-CHG-E8VB03S (3m) ● KP-CHG-E8VB07S (7m) ● KP-CHG-E8VB20S (20m) ● KP-CHG-E8VB30S (30m) ● KP-CHG-E8VB40S (40m)
	D パワコン・計測ユニット間屋内外通信ケーブル ● KP-CH-B8VG03S (3m) ● KP-CH-B8VG05S (5m) ● KP-CH-B8VG15S (15m) ● KP-CH-B8VG30S (30m)
	F DC/DC コンバータ通信ケーブル ● KP-CHE-E8VDB029S (2.9m) ● KP-CHE-E8VDB05S (5m)
	G PV ユニット入出力ケーブル ● KP-CHJ-F2VDB029ND3 (2.9m) ● KP-CHJ-F2VDB05ND3 (5m)
	P トランスユニット通信ケーブル ● KP-CHT-E4VDB029S (2.9m) ● KP-CHT-E4VDB05S (5m)
T	主幹電流センサ (絶縁型) (1 セット: 2 個入り) ● KP-CT-S16AC100A (φ14.5) ● KP-CT-S24AC100A (φ24) ● KP-CT-S35AC100A (φ35.5)
	主幹電流センサケーブル (絶縁型) ● KP-CHI-C4VB15S2 (15m) ● KP-CHI-C4VB30S2 (30m)
7	全負荷用分電盤 ● KP-DB75B

※1. ゲートウェイとルータは無線で接続することもできます。

施工の前に

配線引き込みイメージ図①

A 蓄電専用システム [特定負荷] / B ハイブリッド蓄電システム [特定負荷]



※2. 図は ITC-SSBU98 のイラストで説明しています。

※3. ゲートウェイとルータは無線で接続することもできます。

施工の前に

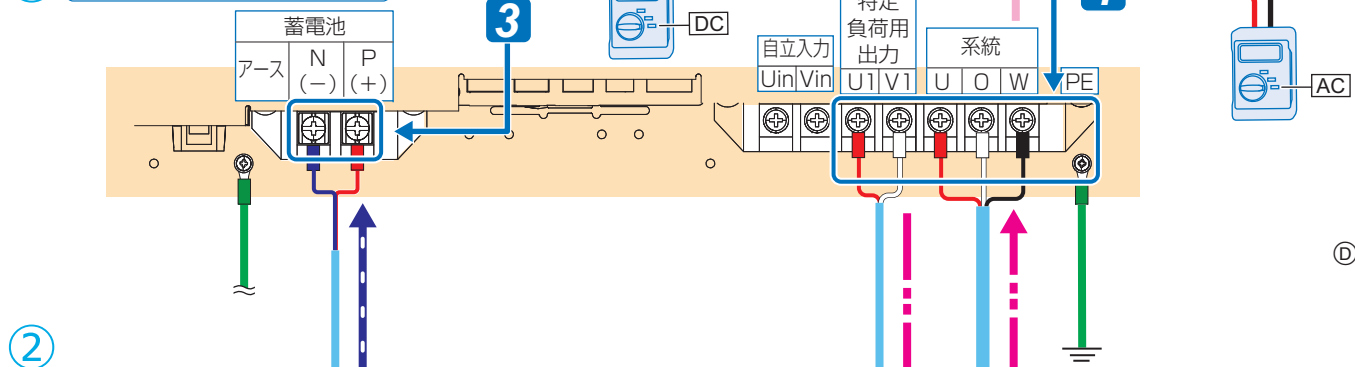
配線後の測定（概要）①

A 蓄電専用システム [特定負荷]

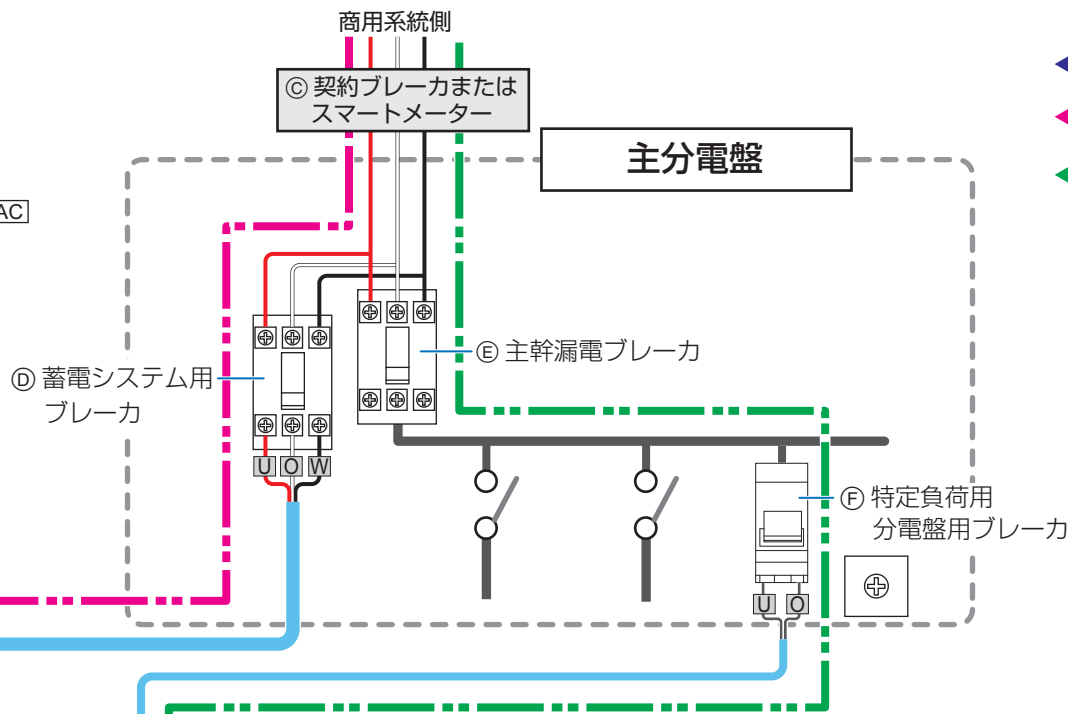
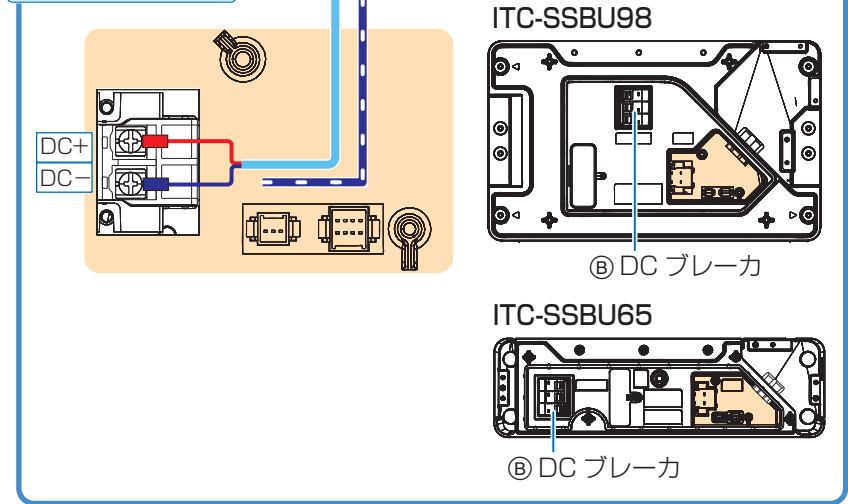
B ハイブリッド蓄電システム [特定負荷]

運転停止状態で測定します

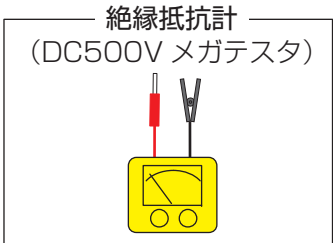
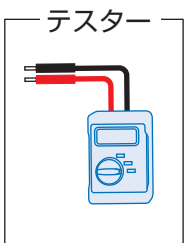
① パワーコンディショナ



② 蓄電池ユニット

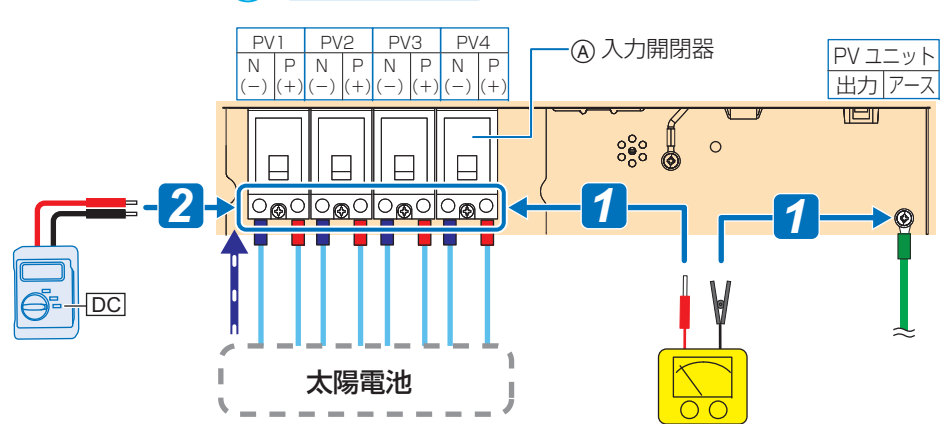


← 直流
← 交流（パワーコンディショナ経由）
← 交流



蓄電池ユニットの絶縁抵抗は測定しないでください。蓄電池ユニットが故障します。

④ PV ユニット



測定機器	測定箇所	測定内容	測定前の準備（1、2、3・・・の順番に行う）	合格範囲
① PV ユニット	PV1 ~ PV4（①→②の順） ①（PV1 ~ PV4）P（+）～E 端子間 ②（PV1 ~ PV4）N（-）～E 端子間	絶縁抵抗	1. ④ 入力開閉器「オフ」	0.4MΩ 以上
② PV ユニット	PV1 ~ PV4 N（-）～P（+） 端子間	直流電圧	1. ④ 入力開閉器「オフ」	接続した太陽電池枚数×開放電圧の値と測定した値に大きな開きがない
③ パワーコンディショナ	N（-）～P（+） 端子間	直流電圧	1. ⑧ DC ブレーカ「オン」	ITC-SSBU98 の場合：直流 126 - 174.3V ITC-SSBU65 の場合：直流 84 - 116.2V
④ パワーコンディショナ	U～O 端子間、W～O 端子間、 U～W 端子間、PE～O 端子間、 U1～V1 端子間	交流電圧	1. ⑥ パワーコンディショナ用ブレーカ「オフ」 2. ⑨ 手動切替開閉器を「蓄電システム側」 3. ④ 契約ブレーカ「オン」 4. ⑤ 主幹漏電ブレーカ「オン」 5. ⑩ 蓄電システム用ブレーカ「オン」	U～O 端子間、W～O 端子間：交流 101 ± 6V U～W 端子間：交流 202 ± 12V PE～O 端子間：交流 0V（6V 以下） U1～V1 端子間：交流 101 ± 6V
⑤ 特定負荷用分電盤	U1～V1 端子間	交流電圧		交流 101 ± 6V
⑥ 特定負荷用分電盤	L～N 端子間	交流電圧	1. ⑩ 蓄電システム用ブレーカ「オフ」 2. ⑨ 手動切替開閉器を「蓄電システム側」 3. ④ 契約ブレーカ「オン」 4. ⑤ 主幹漏電ブレーカ「オン」 5. ⑥ 特定負荷用分電盤用ブレーカ「オン」	交流 101 ± 6V

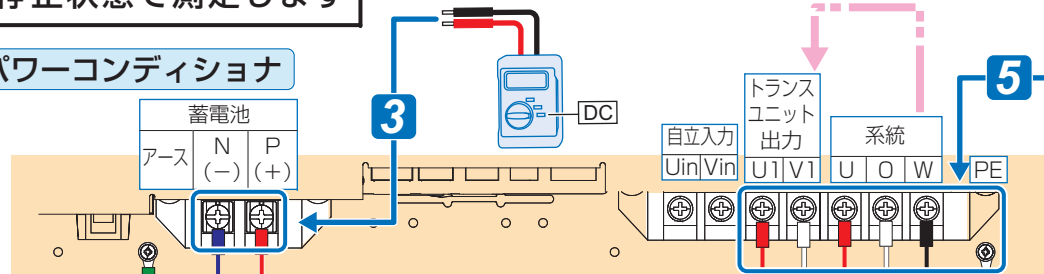
施工の前に

配線後の測定（概要） ②

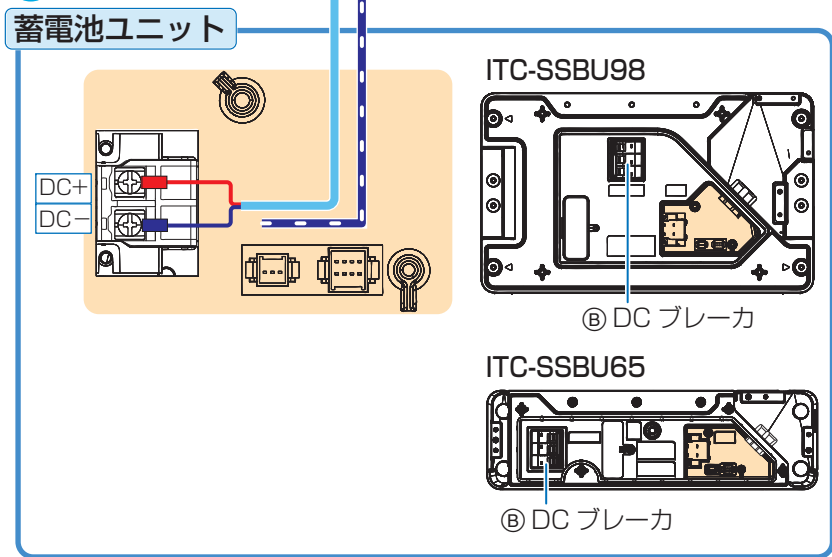
c ハイブリッド蓄電システム [全負荷]（全負荷用分電盤 KP-DB75 をご使用の場合）

運転停止状態で測定します

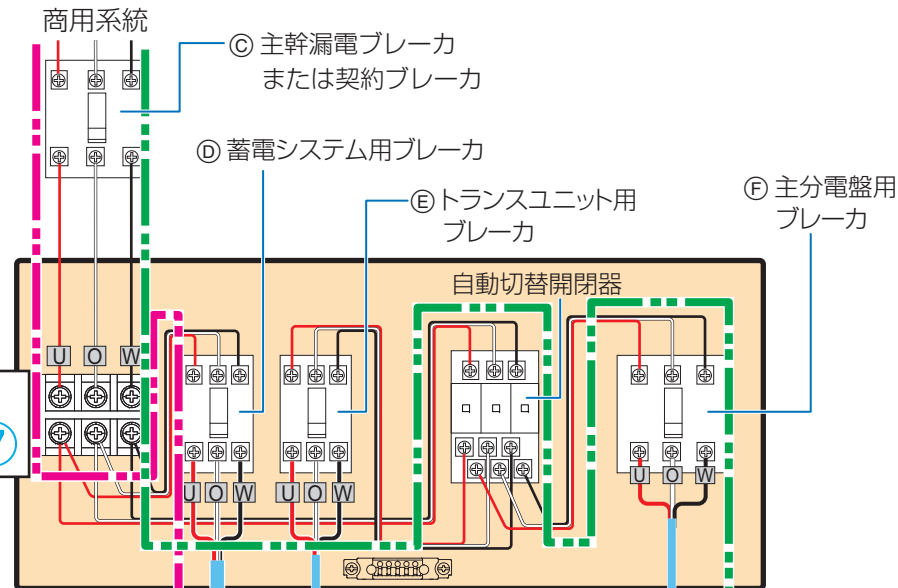
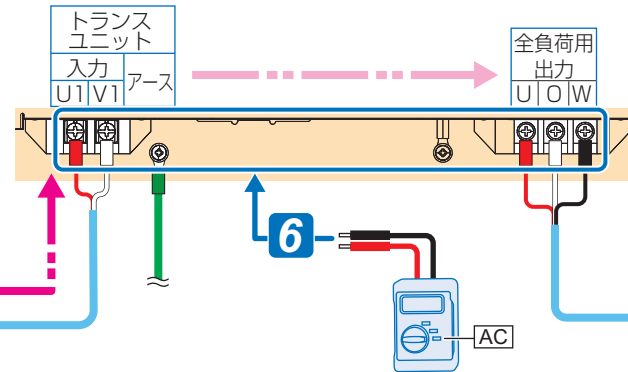
① パワーコンディショナ



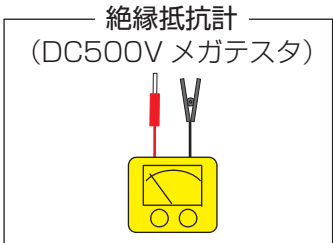
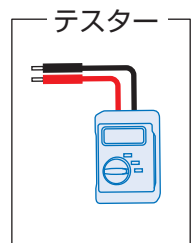
② 蓄電池ユニット



⑥ トランスユニット

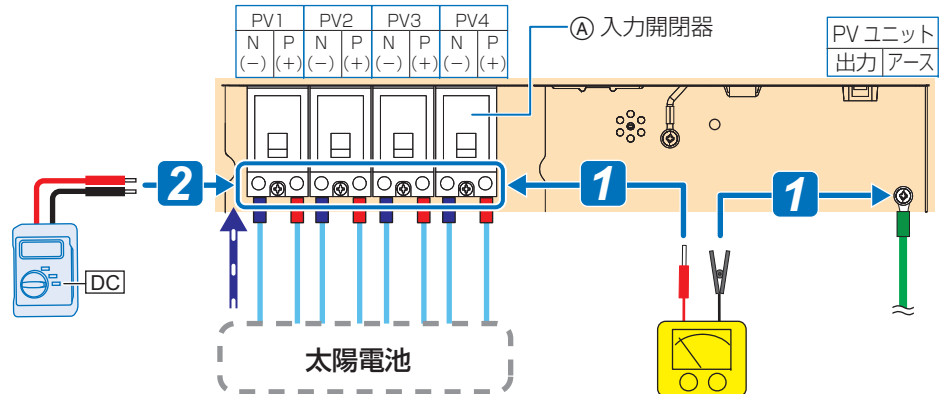


← 直流
← 交流（パワーコンディショナ経由）
← 交流



蓄電池ユニットの絶縁抵抗は測定しないでください。蓄電池ユニットが故障します。

④ PV ユニット



測定機器	測定箇所	測定内容	測定前の準備（1、2、3・・・の順番に行う）	合格範囲
① PV ユニット	PV1 ～ PV4（①→②の順） ①（PV1 ～ PV4）P（+）～ E 端子間 ②（PV1 ～ PV4）N（-）～ E 端子間	絶縁抵抗	1. ① 入力開閉器「オフ」	0.4MΩ 以上
② PV ユニット	PV1 ～ PV4 N（-）～ P（+）端子間	直流電圧	1. ① 入力開閉器「オフ」	接続した太陽電池枚数×開放電圧の値と測定した値に大きな開きがない
③ パワーコンディショナ	N（-）～ P（+）端子間	直流電圧	1. ② DC ブレーカ「オン」	ITC-SSBU98 の場合：直流 126 - 174.3V ITC-SSBU65 の場合：直流 84 - 116.2V
④ 主分電盤	U ～ O 端子間、W ～ O 端子間、 U ～ W 端子間	交流電圧	1. ③ 全負荷用分電盤用ブレーカ「オフ」 2. ④ 蓄電システム用ブレーカ「オフ」 3. ⑤ トランスユニット用ブレーカ「オフ」 4. ③ 主幹漏電ブレーカまたは契約ブレーカ「オン」 5. ④ 主分電盤用ブレーカ「オン」	U ～ O 端子間、W ～ O 端子間：交流 101 ± 6V U ～ W 端子間：交流 202 ± 12V
⑤ パワーコンディショナ	U ～ O 端子間、W ～ O 端子間、 U ～ W 端子間、PE ～ O 端子間、 U1 ～ V1 端子間	交流電圧	1. ⑥ 主分電盤用ブレーカ「オフ」 2. ③ 主幹漏電ブレーカまたは契約ブレーカ「オン」 3. ④ 蓄電システム用ブレーカ「オン」	U ～ O 端子間、W ～ O 端子間：交流 101 ± 6V U ～ W 端子間：交流 202 ± 12V PE ～ O 端子間：交流 0V（6V 以下） U1 ～ V1 端子間：交流 101 ± 6V
⑥ トランスユニット	U ～ O 端子間、W ～ O 端子間、 U ～ W 端子間、E ～ O 端子間、 U1 ～ V1 端子間	交流電圧		U ～ O 端子間、W ～ O 端子間：交流 51.5 ± 3V U ～ W 端子間：交流 103 ± 6V E ～ O 端子間：交流 51.5 ± 3V U1 ～ V1 端子間：交流 101 ± 6V

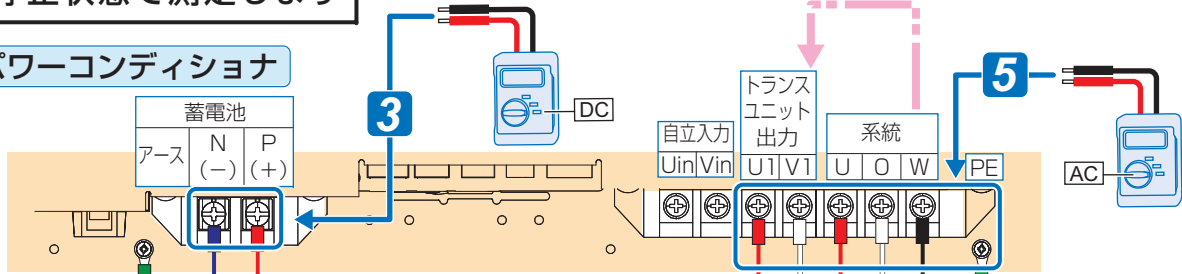
施工の前に

配線後の測定（概要）②

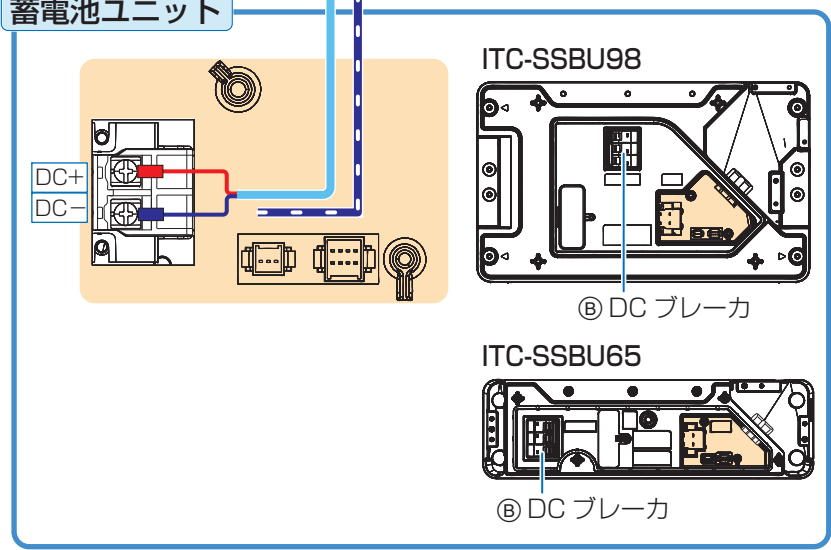
c ハイブリッド蓄電システム [全負荷]（全負荷用分電盤 KP-DB75B をご使用の場合）

運転停止状態で測定します

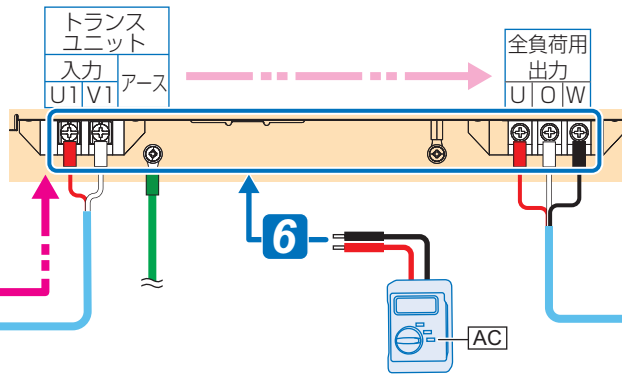
① パワーコンディショナ



② 蓄電池ユニット



⑥ トランスユニット



商用系統
◎主幹漏電ブレーカ
または契約ブレーカ

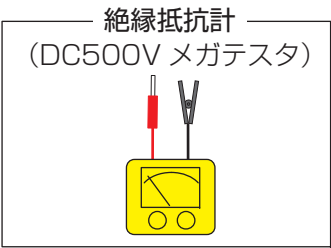
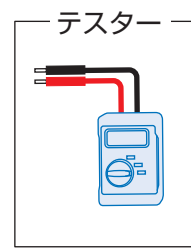
①蓄電システム用ブレーカ

◎トランスユニット用
ブレーカ

◎主分電盤用ブレーカ

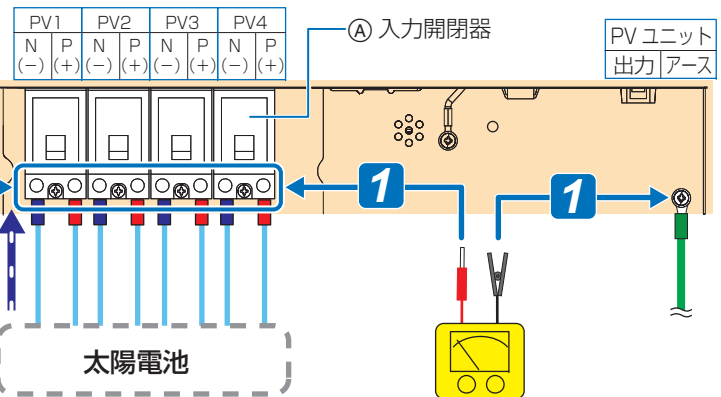
◎全負荷用分電盤
用ブレーカ

← 直流
← 交流（パワーコンディショナ経由）
← 交流



蓄電池ユニットの絶縁抵抗は
測定しないでください。蓄電
池ユニットが故障します。

④ PV ユニット



測定機器	測定箇所	測定内容	測定前の準備（1、2、3…の順番に行う）	合格範囲
① PV ユニット	PV1 ～ PV4（①→②の順） ①（PV1 ～ PV4）P（+）～ E 端子間 ②（PV1 ～ PV4）N（-）～ E 端子間	絶縁抵抗	1. ④ 入力開閉器「オフ」	0.4MΩ 以上
② PV ユニット	PV1 ～ PV4 N（-）～ P（+）端子間	直流電圧	1. ④ 入力開閉器「オフ」	接続した太陽電池枚数×開放電圧の値と測定した値に大きな開きがない
③ パワーコンディショナ	N（-）～ P（+）端子間	直流電圧	1. ⑥ DC ブレーカ「オン」	ITC-SSBU98 の場合：直流 126 - 174.3V ITC-SSBU65 の場合：直流 84 - 116.2V
④ 主分電盤	U ～ O 端子間、W ～ O 端子間、 U ～ W 端子間	交流電圧	1. ⑥ 全負荷用分電盤用ブレーカ「オフ」 2. ① 蓄電システム用ブレーカ「オフ」 3. ⑥ トランスユニット用ブレーカ「オフ」 4. ◎主幹漏電ブレーカまたは契約ブレーカ「オン」 5. ◎主分電盤用ブレーカ「オン」	U ～ O 端子間、W ～ O 端子間：交流 101 ± 6V U ～ W 端子間：交流 202 ± 12V
⑤ パワーコンディショナ	U ～ O 端子間、W ～ O 端子間、 U ～ W 端子間、PE ～ O 端子間、 U1 ～ V1 端子間	交流電圧	1. ⑥ 主分電盤用ブレーカ「オフ」 2. ◎主幹漏電ブレーカまたは契約ブレーカ「オン」 3. ① 蓄電システム用ブレーカ「オン」	U ～ O 端子間、W ～ O 端子間：交流 101 ± 6V U ～ W 端子間：交流 202 ± 12V PE ～ O 端子間：交流 0V（6V 以下） U1 ～ V1 端子間：交流 101 ± 6V
⑥ トランスユニット	U ～ O 端子間、W ～ O 端子間、 U ～ W 端子間、E ～ O 端子間、 U1 ～ V1 端子間	交流電圧		U ～ O 端子間、W ～ O 端子間：交流 51.5 ± 3V U ～ W 端子間：交流 103 ± 6V E ～ O 端子間：交流 51.5 ± 3V U1 ～ V1 端子間：交流 101 ± 6V